

2026年1月27日
 公立大学法人横浜市立大学
 一般社団法人 LBMA Japan
 株式会社ゼンリンデータコム

観光分野に特化した人流データの分析・活用人材を育成 **GREEN×EXPO 2027** をテーマに産官学連携でリカレントプログラムを開始

公立大学法人横浜市立大学（神奈川県横浜市、理事長：近野 真一）は、一般社団法人 LBMA Japan（東京都千代田区、代表理事：川島 邦之）、株式会社ゼンリンデータコム（東京都港区、代表取締役社長：清水 辰彦）と連携し、位置情報・人流データの収集・分析・活用手法を習得し、事業計画の作成や施策の提案できる人材を育成するリカレントプログラムを開始します。近年、位置情報や人流データは観光、交通、都市計画など多様な分野でその活用が期待されている一方、こうしたデータを実務に生かすための体系的な学習機会が十分に整っていないことが課題となっています。

こうした企業・行政の課題に対応する観光領域のプログラム第一弾として、2027年開催の GRREEN×EXPO 2027 をテーマに、大阪・関西万博におけるデータを分析・検証した上で、新たな施策提案スキルを向上させるカリキュラムの提供を行います。

<プログラム内容>

プログラム名：位置情報データ活用講座シリーズ①

「人流データを活用したイベント分析と提案スキルの向上

～GREEN×EXPO 2027 の経済効果最大化に向けて～」

担当教員：都市社会文化研究科 有馬 貴之准教授

日時：2026年2月12日（木）～3月16日（月）（全6回）

会場：横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス

（ハイブリッド形式）

受講対象者：観光・イベント等に係る企業担当者、行政職員、学生

有馬准教授

主催：横浜市立大学

共催：一般社団法人 LBMA Japan 協賛：株式会社ゼンリンデータコム

後援：国土交通省、横浜市総務局、公益財団法人日本観光振興協会



<今後の展開>

企業と連携した位置情報・人流データに関するリカレントプログラムは、来年度以降も継続して実施し、データ活用人材の育成により観光分野を中心とした業界・行政関係者等のリテラシー向上に貢献します。

<参考>

■横浜市立大学

横浜市立大学は、5学部、6研究科、附属2病院を擁する総合大学であり、開国・開港の地・横浜にふさわしく、豊かな教養と高度な専門性を備えた世界で活躍できる人材を育成することを使命としている。国際都市・横浜における教育・研究・医療の拠点となることを目指し、社会の発展に寄与し市民の誇りとなる大学づくりを進めている。

所在地：神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2

Web: <https://www.yokohama-cu.ac.jp/>

■一般社団法人 LBMA Japan

一般社団法人 LBMA Japan(ロケーションビジネス & マーケティングアソシエーション)は、位置情報データを活用したビジネス・マーケティング・サービス施策を促進する非営利社団法人。現在、日本国内で事業を展開する 115 社が加盟。(2025 年 12 月現在)

所在地：東京都千代田区神田和泉町 1 番地 6-16 ヤマトビル 405

Web: <https://www.lbmajapan.com/>

■株式会社ゼンリンデータコム

株式会社ゼンリンデータコムは、高精度な地図データと位置情報を活用し、地図を基盤とした法人向け付加価値情報サービスや各種ソリューションを提供している。また、「ゼンリン地図ナビ」「いつも NAVI」「GODOOR」などのコンシューマー向け地図・ナビゲーションサービスを展開し、ビジネスから日常生活まで幅広い分野において、位置情報の利活用を通じた価値創出に取り組んでいる。

所在地：東京都港区芝浦 3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 22 階

Web: <https://www.zenrin-datacom.net/>



横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じて SDGs の達
成を目指します。

